

令和6年度第1回君津市文化財審議会 会議録

- 1 名 称 令和6年度第1回君津市文化財審議会
- 2 日 時 令和6年7月3日（水） 午後1時30分開会 午後2時50分閉会
- 3 場 所 君津市生涯学習交流センター 201会議室
- 4 会議の議題 (1) 委嘱状交付式
(2) 会長・副会長の選出について
(3) 令和5年度文化財関係事業報告について
(4) 令和6年度文化財関係事業計画について
(5) 令和6年度文化財審議会計画について
- 5 公開または非公開の別 公開
- 6 出席者 委員6名
木曾野正勝（古文書）、高橋 克（民俗）、舘石亮行（近世史・仏教史）、
御簾納照雄（会長／自然）、宮本敬一（考古）、渡邊茂男（副会長／中近世史）

※欠席1名 小高春雄（考古（城郭））

事務局5名

教育長 粕谷哲也（委嘱状交付式、会長・副会長の選出について）、
生涯学習文化課長 塚越直美、文化振興担当主幹 當眞紀子、
文化財主事 朝倉 唯、久留里城址資料館副館長 平塚憲一

- 7 傍聴人 0人

- 8 会議の内容

(1) 委嘱状交付式（粕谷教育長より交付）

(2) 会長・副会長の選出について

（塚越課長）

本審議会の会長・副会長の選任に入りたいと思います。選任は「君津市文化財の保護に関する条例施行規則」第27条第2項により、委員の互選となっております。会長の選任について、委員の皆様のご意見を伺いたいと思います。

（木曾野委員）

これまでの2期4年間、私が会長を務めてきましたが、今期は、私と一緒に副会長を務めていただいた御簾納委員を会長に推薦します。

(塚越課長)

会長について、御簾納委員の推薦がございました。賛成の方は挙手をお願いいたします。

—賛成多数—

御簾納委員に会長をお願いいたします。

続きまして、副会長の選任について、ご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

(御簾納会長)

私からいいでしょうか。文化財審議会委員の経験年数も永く、市史編さん等にも詳しい渡邊委員を副会長に推薦します。

(塚越課長)

副会長について、渡邊委員の推薦がございました。賛成の方は挙手をお願いいたします。

—賛成多数—

渡邊委員に副会長をお願いいたします。

ありがとうございました。第28期の文化財審議会、よろしく願いいたします。

なお、粕谷教育長においては、他の公務がございますので、ここで退席させていただきます。

—粕谷教育長退席—

それでは会議の進行につきましては、「君津市文化財の保護に関する条例施行規則」第27条第3項により、会議の議長は会長となっておりますので、御簾納会長、よろしく願いいたします。

(御簾納会長)

それでは報告・協議事項の(3)令和5年度文化財関係事業報告について、事務局の説明を求めます。生涯学習文化課関係事業、久留里城址資料館事業を続けてお願いします。

(3) 令和5年度文化財関係事業報告について

(當眞文化振興担当主幹)

生涯学習文化課事業は、No.1～No.13の13事業ございますが、主なものについて説明いたします。

No.1文化財審議会は、7月と3月に会議2回を開催し、12月には久留里城址資料館企画展「長板中形—松原伸生の伝統と展開—」の視察を行いました。

No.3・4漁業資料館の事業は、入館者数は年間1,099人、ノリつけ体験は4回実施しました。令和5年度は感染症の影響を受けず、年間を通して開館及びノリつけ体験を実施でき、コロナ禍以前の入館者数に戻りつつあります。ノリつけ体験は、周南小・周西小のほか2団体を対象に実施しました。今年度は、学校教育課の「きみつSDGs教育推進事業」のプログラムと連携し、ノリ養殖や昔の君津の漁業について、生涯学習文化課職員が出張解説等を行いました。

No.9埋蔵文化財発掘調査事業は、民間開発発掘事業が4件、国県補助金対象事業が2件、公共事業関係で2件の発掘調査を実施しました。そのうち報告書刊行まで実施のものが4件あり、本日お手

元に配布しております。令和5年度は、発掘調査実施件数が多く、専門職員が調査担当として常に現場に出ている1年でありました。

No. 11 文化財活用事業です。小学生対象の体験学習「歴史kids隊」では、夏休み期間中に「土器づくり体験」4回を開催し、全体の募集定員80人に対し、参加者計80人でした。次に、「長板中形」関連事業では、昨年10月に君津市初の人間国宝に認定された松原伸生さんの技術と作品の魅力を紹介するため、久留里城址資料館企画展と連携し、中央図書館を会場に、松原さんによる講演会とプレ展示を開催しました。講演会は11月18日開催、募集定員100人に対し参加者150人、プレ展示は11月18・19日の2日間で見学者394人です。出土遺物公開展は「ちっちゃい土器のエトセトラなにこれ？どこから？どうやって？ー」というテーマで、市内から出土した「ちっちゃい土器」、ミニチュア土器といわれる小さい土器を選んで展示・紹介しました。中央図書館と久留里城址資料館の2会場で開催しております。今年度は、久留里城址資料館企画展終了後の展示室の資料入れ替えで、常設展示室の一部を使用できる機会がありましたので、試行的に資料館を会場としました。見学者数は2会場合計で869人です。また、公開展期間中に関連講座「ちっちゃい土器づくり体験」と「展示解説ー土器を愛でる会ー」を開催しました。図書館会場期間の12月には、生涯学習交流センターを会場に「ちっちゃい土器づくり体験」を行い、募集定員20人に対し参加者計29人でした。資料館会場期間の1月には、「ちっちゃい土器づくり体験」と「展示解説ー土器を愛でる会ー」を行い、「ちっちゃい土器づくり体験」は募集定員10人に対し参加者12人、「展示解説ー土器を愛でる会ー」は募集定員20人に対し参加者10人でした。松本ピアノの補修は5台を対象に実施しました。

No. 12 スクールミュージアム事業は、重点実施校の小櫃小・八重原小・周南小の3校を中心に、プールの水生生物観察会、学校周辺の遺跡巡り、自然観察会、勾玉づくり体験等のプログラムを計画通り実施しました。この他、希望校として、外箕輪小の6年生を対象に、学校周辺の遺跡めぐりを実施しました。

No. 13 無形民俗文化財等保存事業です。県・市指定文化財の保存会では、これまで活動を自粛せざる得ない団体もありましたが、令和5年度は多くの団体が活動を再開することができました。

以上で、令和5年度事業報告を終わります。

(平塚副館長)

久留里城址資料館の令和5年度事業を報告させていただきます。

まず年間の開館状況ですが、9月に台風接近にともなう臨時休館が1日あったものの、最終的には開館日は296日、年間入館者数は13,109人となりました。

常設展示事業ですが、夏休み期間中の8月6日には、昭和54年の開館以来の入館者数が100万人に達しました。また、これを記念した桜の植樹を3月27日に天守閣前で行いました。

企画展示事業については、企画展「長板中形ー松原伸生の伝統と展開ー」を11月21日から12月17日まで、前期・後期と展示作品の一部を入れ替えて開催しました。松原伸生さんが10月18日に君津市初の人間国宝に認定されたこともあり、予算や内容等において当初予定に追加しての実施でしたが、盛況なうちに終了いたしました。会期中には関連事業として、松原伸生さん本人による「糊置き実演とギャラリートーク」を、11月23日の午前と午後2回行い、あわせて37人の参加を得ました。また、長板中形関係者と資料館職員による展示解説会を、12月2日と10日に実施し、2日間で82人の参加がありました。

教育普及事業のうち、郷土を掘るリニューアル記念親子講座の「勾玉づくり」では、11組36人の参加がありました。また、資料館講座として「城を歩こう」、「上総の地質とチバニアン」などを行いました。「城を歩こう」は小高委員に講師をお願いし、12月16日に木更津市の真里谷城跡を見学

しました。募集定員20人のところ、参加者は20人でした。「上総の地質とチバニアン」では、御簾納委員に講師をお願いし、2月24日に市原市のチバニアンをはじめ、市内の松丘・亀山地区の用水関連の場所や地層などを見学しました。募集定員25人のところ、参加者は21人でした。

博学融合事業では、小学校の見学受け入れについては、市内小学校9校、対象学年は3年生を受け入れ、このほかに、「昔のくらし」の出前授業が2校、昔の道具の貸し出しが1校ありました。

管理面では、施設維持補修のなかで大きなものとして、6月の台風に伴う大雨による本丸から二の丸間の登城道路肩崩落の復旧工事を実施しました。5月の地震で被災した天守閣の鯨瓦破損修理は令和7年度以降の復旧を目指しております。

以上で、久留里城址資料館の事業の報告を終わります。

(御簾納会長)

ありがとうございました。

とても多くの事業を実施されており、職員の皆さんも大変だったと思います。

事務局の説明が終わりました。何かご意見ありますか。

(高橋委員)

多くの事業を実施されていますが、これらの事後報告の周知、発信等はどのようにしていますか。

(當眞文化振興担当主幹)

事前周知は広報きみつや市ホームページ、参加者を広く募る事業では報道発表等でも情報発信しています。実施後の報告については全事業で行ってはおりませんが、タイミングがあれば、広報きみつ「カメラアングル」コーナーや市フェイスブックなどを活用して、実施状況を情報発信しています。

(高橋委員)

スクールミュージアム事業は、重点実施校以外の学校にも情報発信したらいいと思いますよ。

(當眞文化振興担当主幹)

スクールミュージアム事業では、担当の社会教育指導員が体験プログラム実施後に「スクールミュージアムだより」を作成し、市内全小学校にメール配信し、情報共有をしています。

(御簾納会長)

「スクールミュージアムだより」は私も拝見させていただきました。児童の写り込みなどへの配慮は必要でしょうが、ホームページなどで紹介してもいい内容だと思います。

(宮本委員)

埋蔵文化財発掘調査事業で、昨年度から九十九坊廃寺跡の発掘調査を実施しており、この会議の後、現地視察に行く予定になっていますが、遺跡の全体がわかる図面などは用意していますか。

(當眞文化振興担当主幹)

用意してあります。視察先へ移動する際にお渡しします。

(御簾納会長)

他にございますか。

ないようですので、(4)令和6年度文化財関係事業計画について、事務局の説明を求めます。

(4)令和6年度文化財関係事業計画について

(當眞文化振興担当主幹)

生涯学習文化課事業は13事業です。主なものについて説明いたします。

No.1文化財審議会は、会議3回を予定しています。1回目の会議が本日7月、以降2回の会議開催を予定しています。

No.9埋蔵文化財発掘調査事業では、国県補助金事業の市内遺跡、民間開発、公共事業に伴う調査を予定しております。補助金対象の市内遺跡は、個人住宅に伴う調査1件の確認調査を6月下旬に行いました。この7月上旬に本調査を予定しております。民間開発に伴う調査は、昨年度からの続きですが、5月から九十九坊廃寺跡の本調査を実施しています。本日も調査しておりますので、会議終了後、現地視察を行います。公共事業に伴う調査は、6月から貞元の富吉遺跡内での確認調査を開始しております。このほか、民間開発に伴う調査の協議が整えば、さらに現場が2か所動くことになりますので、埋蔵文化財の専門職員が1年を通じて発掘調査を担当する状況が今年度も続いております。

No.11の文化財活用事業です。出土遺物公開展は、みふねの里保育園建設に伴い、令和3年度、4年度に本調査を実施しました富吉遺跡の最新成果と、小糸川周辺の遺跡の主に鎌倉・室町時代の成果を中心に紹介します。期間は8月20日から9月1日、会場は中央図書館1階の展示スペースです。また、展示期間中には、みふねの里保育園建設に伴う発掘調査成果の報告会を9月1日に、中央図書館2階視聴覚室で開催します。報告は、発掘調査担当者の矢野主査が行う予定です。また、今年度は、県指定文化財「常代遺跡出土の木製品」のうち、破損等が生じている4点について修理を実施します。

No.13の無形民俗文化財保存事業では、県・市指定文化財の保存会で実施予定です。鹿野山のはしご獅子舞は、4月28日、祭囃子の奉納を実施しました。人見神社「神馬」は7月21日、大戸見の神楽は8月3日に実施予定です。9月以降も順次実施の方向で活動しております。

以上、説明を終わります。

(平塚副館長)

久留里城址資料館の令和6年度事業計画についてご説明いたします。

企画展は「関東無双ノ大将 里見義堯―久留里城を拠点とした戦国の雄―」と題し、戦国時代の久留里城主里見義堯の没後450年を記念し、義堯に関する古文書を中心に紹介し、その足跡、人物像にせまります。期間は10月26日から12月8日まで。会期中にはシンポジウムや講演会、展示解説会、市内外の里見氏関連の現地見学会を実施する予定です。また展示資料を掲載した図録も発行します。

ミニ企画展として、令和6年3月に「伝えたい千葉の産業技術100選」に登録された「房総の二五穴群」の紹介展示を市役所ロビーと久留里城址資料館の2会場で開催しました。市役所ロビーは終了し、7月15日までは資料館にて展示しております

その他、一部はすでに実施しておりますが、資料館講座「古文書講座・入門編」、夏休み特別企画「久留里城クイズラリー」、市内小中学生の親子対象の「わがふるさとの歴史」、出張講座「長板中形」などを予定しております。

博学融合事業では、市内小学校の来館について、すでに5校ほど受け入れております。

施設維持補修では、資料館や天守閣周辺の環境整備、登城道及び遊歩道沿い等の整備を引き続き行っています。

以上、簡単ですが、事業計画の説明を終わります。

(御簾納会長)

事務局の説明が終わりました。質問、ご意見等がありますか。

(渡邊委員)

市でいろいろな計画や、各課で事業ごとのリーフレット、報告書を作成していますが、1年の成果をまとめたもの、それを見ればその年に何があったかわかるものがあるといいのではと思います。新たな刊行物の作成が難しいことは承知していますが、意見としてお話をさせていただきます。

(當眞文化振興担当主幹)

久留里城址資料館は年に1度「館報」を、生涯学習文化課は発掘調査の報告書刊行を行っています。新たな刊行物の作成は、予算的にも、職員の業務量的にも厳しいのが現状です。今後の検討とさせていただきます。

(高橋委員)

博物館の関係ですが、千葉県立中央博物館と君津市との関係性は現状どうなっていますか。

(當眞文化振興担当主幹)

千葉県立中央博物館の房総の山のフィールドミュージアムは、令和5年度から清和小技術室で活動しており、月2回を目安に中央博物館の職員が来訪し調査・研究などを行っています。スクールミュージアム事業では、プールの水生生物観察会での講師を引き続きお願いしておりますし、それ以外でも適宜ご協力いただいています。

(館石委員)

三舟山の麓に「房総往還」という古道があり、近年ハイキングの人が増えているようです。市にも問い合わせなどは入っていますか。

(朝倉文化財主事)

「房総往還」についてのお問い合わせもありますし、最近では、大河ドラマの影響で、源頼朝が安房から鎌倉へ向けて通った道を歩いてみたいが場所はどこか、という問い合わせも多くありました。ご案内の際には、その場所が私有地であり整備されていないこと、また、野生動物の出没等の危険もあることをお伝えするようにしています。

(館石委員)

「房総往還」はハイキングしている人もいるので、もう少し手を加えて周知したらいいと思います。

(御簾納会長)

他にございますか。

ないようですので、(5)令和6年度文化財審議会計画について、事務局の説明を求めます。

(5)令和6年度文化財審議会計画について

(當眞文化振興担当主幹)

今年度の審議會は本日を含め3回開催予定です。

2回目は11月、会場は久留里城址資料館とし、文化財調査と協議、資料館の企画展の視察を予定しております。第3回会議は時間・場所は未定ですが、3月中旬を予定しております。このほかに緊急で審議いただきたい案件がある場合は、事務局より各委員に適宜日程を調整し、会議を開催させていただきたくお願いいたします。

(御簾納会長)

わかりました。事務局から説明がありましたが、これをおおよその計画として、急な案件がある場合は適宜調整ということでよろしいでしょうか。

ー異議なしー

(御簾納会長)

協議事項が終了しましたので、事務局へ進行をお返しします。

(塚越課長)

以上をもちまして、第1回文化財審議會を閉会いたします。長時間にわたりお疲れ様でした。

以上、会議の顛末を記載し、事実と相違ないことを証します。

令和6年7月26日

君津市文化財審議會
会 長 御簾納 照雄